

# 議会だより



リサイクルセンター



16年度予算を可決……………	2
条例制定・条例改正・意見書……………	2
一般質問……………	3

# 16年度予算を可決

3月定例会は、3月11日から31日までの会期21日間行われ、新年度予算、条例の制定など、議案39件、発議3件を審議しました。

また、予算審査特別委員会は4日間行われ、付託された6件の議案を審査しました。その結果すべての案件が原案のとおり議決されました。

## 平成16年度各会計予算の状況

会 計 別	予 算 額	前 年 度	対 前 年 度 比
一般 会 計	69億2,277万7千円	91億5,472万6千円	△22億3,194万9千円
国民健康保険事業特別会計	9億4,517万1千円	8億8,673万円	5,844万1千円
老人保健特別会計	12億427万2千円	11億2,453万8千円	7,973万4千円
農業集落排水事業特別会計	333万5千円	357万5千円	△24万円
下水道事業特別会計	2億8,894万円	3億9,270万3千円	△1億376万3千円
水道事業会計	2億8,255万3千円	2億6,830万4千円	1,424万9千円
合 計	96億4,704万8千円	118億3,057万6千円	△21億8,352万8千円

### 条例制定

- 「海洋深層水温泉施設パドハウス久米島条例」
- 「久米島町議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当の特例に関する条例」
- 「久米島町長等の給料等の特例に関する条例」
- 「久米島町職員の給与の特例に関する条例」
- 「久米島町課設置条例の一部を改正する条例」
- 「久米島町家畜市場条例」
- 「久米島町へき地診療所設置条例」
- 「久米島町フィッシャリーナ条例」
- 「奥武島公共駐車場条例」
- 「奥武島キャンプ場条例」
- 一〇件が制定されました。

### 意見書

- 「年金の保険料引上げ・給付の削減をやめ、安心できる年金制度の確立を求める意見書」
- 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」
- 「町村の財政基盤確立に関する意見書」
- 三件が採択されました。

### 条例改正

- 「久米島町特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例」
- 「久米島町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例」
- 「久米島町特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」
- 「久米島町議員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例」
- 「久米島町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」
- 「久米島町税条例の一部を改正する条例」
- 「久米島町火災予防条例の一部を改正する条例」
- 「久米島町現業職員の給与の種類及び基準に関する条例等の一部を改正する条例」
- 「久米島教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例」
- 「久米島町廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例」
- 一〇件が改正されました。

鋭く切り込む

# 一般質問

本定例会での一般質問は、3月16、17日に15名が登壇しました。

## 英語教育特区申請を

### A L Tを配置し、英語教育の強化を図る



宮田 勇 議員

宮田議員 国際化・情報化社会にふさわしい人材育成を推進することで、内閣府においては「構造改革特区制度」がある。宜野湾市と浦添市が認定され、新年度四月より全小学校で英語の授業が実施される。町長の施政方針の学校教育振興の中に掲げられているのは同一事業なのか、その制度の説明を求めたい。

喜久里教育長 英語教育については、現在小学校に非常勤講師を派遣し英語教育に取り組んでいる。中学校においては、平成一五年度から英検等の実施により、着実な成果を上げている。また、七月からは中学校にA L T（外国語指導助手）を配置して英語教育の強化を図っていく。当面はこの成果を見ていきたいと思う。教育特区の早急の取り組みは考えていない。

- 宮田勇議員**
- 一、国旗掲揚について
  - 二、英語教育特区申請について
  - 三、J T Aへの負担金の削減について
- 本永朝辰議員**
- 一、家畜排泄物の管理の適性化について
  - 二、空港北側の公園の管理について
- 内間久栄議員**
- 一、久米島町財政事情書の作成及び公表について
  - 二、一着島沖合からの潮の環流の実施の考えは
  - 三、仲泊在自衛隊前の道路排水の改善について
  - 四、久米島の県立自然公園の表示について
- 崎村稔議員**
- 一、観光コースについて

#### 一般質問通告一覧表

**仲村昌慧議員**

- 一、鳥島射爆場でのミサイル試験について
- 二、学校二学期制について
- 三、学校図書館司書について

**上里総功議員**

- 一、行財政改革について
- 二、土地改良区合併後の未収入金賦課金処理について



# JTAへの負担金削減を

## 国の制度で、見直しは難しい

宮田議員 国の三位一体改革により交付税及び恒久的減税による財源不足で歳入減に追い打ちを掛けられ、町の財政状況はかつてないほど厳しい窮地に立たされている。職員、特別職、議員、皆さんのご理解のもとに、人件費、物件費及び町単独補助金の減額等の歳出削減を図りつつも、不足の財源は基金を大幅に取り崩して補い、財政も底をついている今年度の予算編成である。これまでJTAへの離島空路確保対策分担金として今年三月議会の補正で町負担金三千七九四万一千円が歳出することになっている。平成一六年度予算内においては、どう捻出するのか、厳しいと思うが、負担金の見直しは必至である。町長の今後の対応、見解を伺いたい。

高里町長 「運航費補助制度」は、平成一一年度に国内航空分野の需給調整規制の廃止に際し、離島における住民の生活に必要な旅客輸送の確保に資するために、日常生活に特に必要な航空路線について、その運行費の一部に対する補助制度である。国・県・町としても同様なかたちで補助を行っている。このような国の制度からして、町単独での見直しについては難しい状況にある。

今後、補助金の低減化を図る方策として、搭乗率を高めて、航空会社の赤字解消を図る努力が必要であると考えている。

## 家畜排泄物の対策方法は？

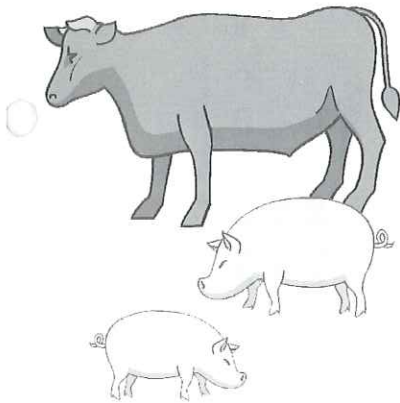
### 未整備畜舎の整備強化を図る



本 永 朝 辰 議員

本永議員 家畜排泄物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律が一九九九年一月に施行されている。この法律は、環境問題がクローズアップされる中で家畜の糞尿による環境への影響を防ぐ主旨で作られ、その適用が今年の一〇月だと聞いている。そこで、この法律に対処するため、町として、これまでどういう対策を立ててきたか。また、今年の一〇月に向けてどういう対策を講ずる考えであるのか、伺いたい。

高里町長 これまでの対策として畜産基盤再編総合整備事業・畜産環境保全施設整備リース事業または、畜産農家単独で堆肥舎の整備を行ってきたが、平成一六年度からは堆肥舎だけの補助事業がないため、未整備の農家については、今後、畜産農家単独で堆肥舎の整備をする必要がある。これについても町で支援できるような対策を講じていきたいと思っている。



平良朝幸議員  
一、ハテの浜の管理について  
二、行政改革について  
三、町の電算システムについて

幸地良雄議員  
一、三位一体改革について  
二、消防拠点整備計画について

宮里洋一議員  
一、公立久米島病院の産婦人科医師の配置について  
二、町広報等印刷物について

翁長英夫議員  
一、行財政改革について  
二、情報公開条例の制定について

上江洲盛元議員  
一、久米島県立自然公園の保護について  
二、久米島の教育改革について  
三、観光振興について

四、鳥島射撃場における実弾ミサイル発射試験訓練予定への対応について

山城宗太郎議員  
一、行財政改革について

大田哲也議員  
一、久米島町議員の採用方針について

仲原健議員  
一、真泊港ターミナル東側の廃車集積場の撤去について

真栄平勝政議員  
一、島の学校体験交流施設整備事業について  
二、財政について

# 公園内の福木の移植を！

## 県と調整図り対策を講ずる

本永議員 空港北側の公園管理について、その公園内に松と福木が交互に植栽されているが、そこは松の勢力が強く、このままの状態では福木は枯れる可能性が強いのではと危惧している。そこで、その福木の移植を含めて検討してほしいが、町長の見解を伺いたい。

高里町長 空港北側の公園内の松と福木の植栽については、現地を調査したところ、この地域は県が空港拡張の時期に用地購入し、防風林として植栽された箇所である。今後、県と調整し、その対策をやっていきたいと考えている。



空港北側公園

## 財政事情書の公表はしているか 条例に基づいた公表をしていく



内間久栄 議員

内間議員 町は、地方自治法第二四三条第一項を受けて、町条例を制定したが、条例のとおり、町は財政事情の公表を定めた時期に年二回、町の歳入、歳出予算の執行状況並びに財産、地方債及び一時借入金現在の高、その他財政に関する事項を町民に公表しているか。

高里町長 久米島町財政事情書の作成及び公表について、平成一五年五月の町広報に記載した。条例の規定のとおり公表はしてない。今後、条例に基づいた公表を行っていく。

内間議員 公表については、町広報で行ったとのことだが、正式には旧具志川村、旧仲里村の告示板に告示することにしている。条例に従って告示を行い、町の財政事情を町民が見て理解できるよう、わかりやすいかたちで公表してもらいたい。

# 排水機能果たさず！

## 降雨時に現況調査する



農道132号線（奥） 町道仲泊8号線（手前）

内間議員 自衛隊官舎前の道路、磯田農道一三二号線には側溝が施されているが、十分に機能してないため、降雨時期になると下側の農地、宅地、仲泊八号道路の歩道等に悪影響を与え、地域住民に大変迷惑をかけている。このような状況から、今後、災害事故も想定される。早期の改善が望まれるが、改善の考えはあるか。

高里町長 仲泊在自衛隊官舎前の道路、磯田農道一三二号線は、自衛隊官舎から雨水排水を受けて流すための道路側溝が整備されており、また仲泊8号線との取付部分についても側溝の蓋がグレーチングで取り付けられている。今後、降雨時に現況調査し、対策を考える。



崎村 稔 議員

## 深層水研究所・久米仙工場を観光コースに

### 研究所内は無理、久米仙工場には協力要請する

崎村議員 海洋深層水研究所や久米仙工場には観光コースがなく、観光客からは「コースがあればもっと良いですね」とよく要望される。「また来てみたい久米島」「あの人に行ってみよう久米島」にするためには、観光客の意見を大事にすることから始まると思う。県当局や会社側と一致協力して、案内コースをぜひ作ってほしいと思うが、観光協会会長としての町長の所見を伺いたい。

高里町長 海洋深層水研究所の観光利用について、県への協力要請を行ってきたが、「同施設はあくまでも研究施設であり、観光施設としては望ましくない」と断られた経緯がある。そこで町としては、同施設に隣接して久米島の海洋深層水を宣伝・紹介する「海洋深層水ふれあい館」を設置し、観光客及び住民の受け入れを行っている。

久米仙工場は、現在も多くの観光客が入っており、多大な協力をいただいている。今後とも引き続き協力をお願いしていきたい。

## ミサイル試験反対の

### 島民大会を！

#### 風評被害が懸念、別方法を



仲村 昌 慧 議員

仲村議員 防衛庁は六月以降、数回に分けてミサイル試験を実施する方針を伝えている。それは議会の反対決議や町長の反対を無視して強行的に実施するのではないかと危惧される。ミサイル試験について町長の対応を伺いたい。

①国、県に対して中止要請をする考えはないか。  
②議会に対してミサイル試験反対の理解を求める考えはないか。  
③行政主導で島民大会を持って抗議する考えはないか。

高里町長 ①国、県への要請については、防衛庁の動向を見て判断していきたい。  
②議会に対しては、議会の良識を判断したいということ、私が立ち入るまではないのではないかと思っている。

③島民大会については、劣化ウラン弾の問題が持ち上げられて、風評被害が心配されるので島民大会はやらないで別の方法で要請行動をした方がいいのではないかと思っている。



要撃戦闘機 F-15J

## 学校二学期制の導入は？

### 先行実施を試行し、結果を見て一斉導入へ

仲村議員 完全学校五日制と、新学習指導要領による総合的な学習時間の導入によって、二学期制への移行は全国的に拡大している。本町においては、中高一貫教育の研究の中で二学期制の導入が検討されている。また、教育長も導入を推進しているが、導入の時期と導入に向けての取り組み、二学期制についての教育長の見解を伺いたい。

喜久里教育長 先進地の実践例の調査研究を踏まえ、教育委員の会議及び校長・教頭研修会等で、そのメリット等について論議を重ねてきた。授業時数の確保やゆとりを持って児童生徒の指導に当たれることから、早期導入を目指して進める考えである。

導入時期については、小学校もしくは中・高校で先行実施をしてくれる学校を選定し、早期に試行をしていただき、その実践結果を踏まえて町内の小・中・高一斉に導入できたらと考えている。

## 「三位一体改革」の取り組み体制は？

### 行政改革推進室を設置し、明確な方針を立てる



上里 総功 議員

**上里議員** 小泉政権の「三位一体改革」による国からの補助金、地方交付税の削減の直撃を受け、県内自治体の財源悪化が一举に表面化している。久米島町においても、行財政改革を最優先課題に掲げ、事務事業の見直し、組織の再編等を行うとなつているが、具体的に伺いたい。

**高里町長** 平成一六年度は、総務課内に行政改革推進室を設置し、内部の推進体制の強化を図るとともに、住民参加による行政改革推進委員会を設け、事務事業の見直しや組織再編等も盛り込んだ行政改革大綱・実施計画を作成し、明確な方針のもとに抜本的な取り組みをしていきたい。

## 土地改良区の未収金処理は？

### 統合推進協議会で対策を講じる

**上里議員** 旧仲里村の各土地改良区は、合併に向けて準備が進められているが、合併後の未収金賦課金処理はどのように進めていくのか。今後、旧具志川村土地改良区との合併はどのようになるのか。

**高里町長** 平成一〇年度から仲里地区の土地改良区の合併、平成一五年度から具志川地区の土地改良区の合併に向け取り組んできています。未払遅延金や残高元金については、合併の統合推進協議会で検討した結果、沖縄県信用農業協同組合連合会からの借り換えで対処し、今後、未収賦課金については、統合推進協議会の中で協議し、対策を講じていく予定である。

**平良農林水産課長** 久米島全体の土地改良区の合併は、今後、北部、西部が合併した後、県の指示を仰ぎながら協議していきたい。



ハテの浜

**高里町長** 現在、ハテの浜の管理については、年に一〜二回程度、観光協会が主催し、住民からボランティアを募り清掃を行っている。ハテの浜はあくまでも自然状態を保存、保全しながら観光客に体験的な条件があることから、人工的に構造物等を築造しての観光地造成や管理することはあまり望ましいものではないと考えている。

## ハテの浜の美化・管理を！

### 自然状態を保存する



平良 朝幸 議員

**平良議員** ハテの浜は、久米島町最大の観光地でありながら、その管理については一部ボランティア

ティアによる清掃だけで、行政管理がなされていない状況である。観光推進する上からも、ハテの浜の美化や管理は避けて通れない問題であるが、実際はアメリカ軍管轄下の「久米島射撃場水域」であり、黙認で観光客等が入域しているという現状である。町はハテの浜の管理について、どう考えているのか。

# 電算システムの統一化を

## 完全PC化を検討

平良議員 町の電算システムについて、合併後、オフィスコンピュータとパーソナルコンピュータを併用しているが、互換性が全くなく、費用がかさむばかりで、非合理的である。国がパーソナルコンピュータ（PC）化を推し進めている以上、PCに全て統一する必要があると思うが、町としてどう考えているのか。

高里町長 平成一七年度稼働目標に電算システムの完全PC化を目指していたが、厳しい財政状況により平成一六年度導入を見送ることになった。今後、現在の機器の耐用年数や予算面などを勘案しながら、導入時期を検討していきたいと思う。



幸地良雄 議員

## 「三位一体改革」、どう対処する？

### 緊急要望決議を、政府の関係省庁へ送付

幸地議員 国の三位一体改革により地方交付税や補助金が大幅に削減され、自治体に深刻な打撃を与えた。平成一六年度予算において歳出を大幅に圧縮されたにもかかわらず、なお大きな財源不足で基金等を取り崩さざるを得ない厳しい予算編成となっている。

このような緊縮予算は景気よくない現状ではますます地域経済を冷え込ませ、なお住民へのサービス低下につながるかねない。この三位一体改革にどう対処していくか。

高里町長 平成一六年度予算編成においては、人件費、物件費、町単独補助金等の歳出を圧縮しており、住民サービスの低下を懸念しているが、極力低下させないよう取り組んでいきたい。

沖縄県町村会総会において「補助金廃止で財源補償措置を講じるよう、町村の財政基盤確立を求める」緊急要望決議をし、政府の関係省庁へ送付することになっている。また、全国町村会においても同様な決議を予定している。

# 仲里中央地区に消防車を

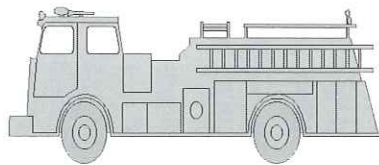
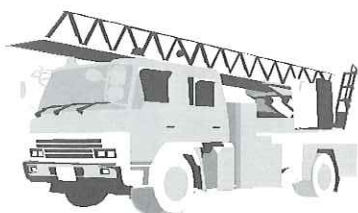
## 早期建設を目指す

幸地議員 消防の拠点は本部署のみである。火災等が発生した場合、本部を拠点として遠く離れているほど被害度及び延焼危険率が高くなり、その分、消防の恩恵を少なく受けることとなる。本町で最も広範な人口密集地でそのような境地にあるのは仲里中央地区である。

しかし、現下厳しい財政難の折り、いつ建設できるとははっきり言えないが、町民の生命と財産を守るための重要な施設なので、行政改革を推進して財源を確保し、できるだけ早期に建設できるようにしたい。

消防行政の公平なサービスを提供するには当地区にも消防車を配備し、消防団員や非番隊員が素早く活動できる拠点整備が必要であると思うが、整備する考えはあるか。

高里町長 消防の拠点施設を設置し、消防車を配備することにより、火災等が発生した場合に消防団員や非番の消防職員が直近の拠点施設の消防車で災害出動することで現場到着時間を短縮することは、現在の消防行政の重要課題だと考えている。





## 後任産婦人科医の見通しは？

### 週1～2回の医師派遣を要請



宮里 洋一 議員

宮里議員 公立久米島病院の産婦人科医が三月に派遣期間が切れるが、後任の産婦人科医の見通しについて伺いたい。

高里町長 公立久米島病院の産婦人科医師については、厚生労働省の医師派遣事業により九州大学及び久留米大学から産婦人科医師が二人派遣されているが、医師の卒業後、臨床研修などの新制度導入に伴い、両大学からの派遣ができないことで、私と離島医療組合の事務局長並びに山城課長が、県の福祉保健部長へ要請をしてきた。後任が選任できない場合は、せめて週に一回ないし二回の割合で派遣し、妊婦健診をしてもらうように要請をしてきたところである。

## 印刷物の発注先選定方法は？

### 見積額と成果品審査により

宮里議員 町で発行している印刷物「広報くめじま」等の印刷物は、どのように印刷会社を選定しているか。業者間の競争入札が良いと思うが、町長の考えを伺いたい。

高里町長 町広報等印刷物について、平成一五年度は八業者を指名し、見積りと他市町村で手がけた広報誌の成果品を提出してもらい、その内容を課内部で審査を行った。その結果、最低見積り業者の成果品は技術面、構成内容において町の要望を満たしており、他業者と比較してもとてもよいと判断し、最低見積り業者に決定した。平成一六年度においても同様な方法で業者を選定していきたいと考えている。



## 財政再建、どう建て直す？

### 義務的経費の圧縮を重点に



翁長 英夫 議員

翁長議員 地方自治体の財政状況は極めて厳しい直面を迎えた状況であり、国の三位一体改革により、各自治体が財政難を理由に人件費や補助金をカットし、施設使用料をアップするという状況である。本町においても予算編成には歳入不足となり、積立金や基金の取り崩しを行い財政需要額の均衡を保つものである。町長は今後の町運営に対する財政再建をどう建て直すのか、所見を伺いたい。

高里町長 財政再建を行うには行政改革大綱を策定し、それに基づき改革を実施することが重要だと考えている。当面の課題として、義務的経費をいかに圧縮するかに重点を置き、事務事業の見直しに取り組みと同時に、歳入の確保、町有地の賃貸料の検討、海洋深層水関係の企業誘致による法人税等の確保を図っていきたいと考えている。

## 町民に情報公開を！

### 情報公開条例を策定する

翁長議員 情報公開条例の整備について。

①行政機関の保有する情報公開法が成立しており、地方公共団体も情報公開法の趣旨に則り市町村の保有する情報の公開は必要だと考えるが、町長の見解を伺いたい。

②中山間総合整備事業の進捗状況を伺いたい。

③久米島町最終処分場事務事業内容と、今後の運営系統とその中身について説明を求めたい。

高里町長 ①平成一五年度

は、情報公開や住民基本台帳ネットワーク化の実現に備え、個人情報保護条例の制定を優先に取り組んできたが、平成一六年度は、情報公開条例を制定し、情報公開に努めていきたい。

②中山間整備事業は、平成一七年度新規事業採択に向けての予定。

③最終処分場の事務事業内容、今後の管理運営については、供用開始後しばらくの間状況を見ながら検討していきたい。

## 情報公開法

2001年4月1日から「行政機関の保有する情報公開に関する法律」（情報公開法）が施行されました。

情報公開法は行政機関、法人等の保有するすべての行政文書、法人文書を対象として、誰でもその開示を請求することができる権利を定めております。

国の情報公開法以外にもさまざまな情報公開制度がある。

地方自治体の情報公開条例(1980年ごろから)  
行政機関の情報公開法(2001年4月から)  
独立行政法人の情報公開法(2002年10月から)  
外国の情報公開制度(米は1966年から)  
国際機関の情報公開制度(1990年ごろから)

## 農・漁業と観光産業の一体化を 関係機関と連携し、地産地消に努める



上江洲 盛 元 議員

上江洲議員 農・漁業と観光産業との一体化について、町長の施政方針にも触れられているが、これまでも久米島おこしシンポジウム等でも提起された文句である。いったい旗振りには誰がやるのか、どのように組織化するのかを明確にし、実行に移すべきではないか。宿泊所(ホテル・民宿)での食料農産物、海産物の島内産活用、また、特産品開発等々である。

高里町長 宿泊、飲食店業者に対しては、極力、地元食材利用についての協力を行っているところである。しかしながら、消費者側からすると、なかなか安定供給が得られないとして島外産に頼っている現状である。この件に関しては需要者と供給者に問題はあがるが、今後、商工観光課、農林水産課、JA久米島支店及び久米島漁業協同組合等と連携を図り、地元産の利用普及に努めたい。

特産品開発についても、商工会との連携を図りながら進めたい。

## ミサイル試験、漁連・漁協が中止の意見書を 国への要請行動には感銘

上江洲議員 鳥島射撃場における実弾ミサイル発射試験訓練予定への対応について。

①県漁連代表、県漁協代表、地元棚原漁協等は、去る二月一七日に上京し、防衛庁長官、防衛施設庁長官宛に中止の意見書を提出している。この意見書は、町長、議長にも届けられているはずである。この両漁業団体の行動について、町長の見解を伺いたい。

②最近の防衛庁の、この件に関する情報を把握しているか。

③この件について、町民大会を開き、町民としての反対運動を展開してはどうか。

高里町長 ①劣化ウラン弾処理の未解決、漁船の操業妨害等が発生しており、漁連等の国への要請行動は、町長として大変意を強くしている。

②防衛庁の情報は、把握していない。

③町民大会については、時期、開催をどうするか、今後の動向を見ながら検討したい。実行委員会形式で大会を持つなら、参加してあいさつする気持ちはある。

# 行財政改革の推進は？

## 行政改革推進室を設置し、強化を図る



山城 宗太郎 議員

山城議員 町長の平成一六年度の施政方針に行財政改革の推進を最優先課題として挙げていますが、町長の考えを伺いたい。

高里町長 平成一五年度は行政改革推進本部を設置し、今後の取り組みについて打ち出したところであるが、このような緊迫した財政状況を踏まえ、平成一六年度は総務課内に行政改革推進室の設置など、内部の推進体制の強化を図るとともに、住民参加による行政改革推進委員会などを設け、行政改革大綱・実施計画を作成し、明確な方針のもとに抜本的に取り組んでいきたい。

山城議員 行政改革推進委員会の設置はいつか。

平田総務課長 平成一六年度四月か五月に立ち上げの予定。

# 職員採用方針は？

## 新規採用の予定はない



大田 哲也 議員

大田議員 国の三位一体の改革に伴い、交付税の見直し、補助金の削減など地方行政の運営はますます厳しい状況に陥つてくると予想されるが、町の基本的な考えを伺いたい。

①平成一六年度久米島町の退職者予定者は何名で、新規採用の予定はあるのか。

②現在、久米島町の職員で、夫婦は何組いるのか。

今後の方針として、夫婦のどちらかを五〇歳で勧奨退職を募り、新規採用を行う考えはないか。

高里町長 ①平成一六年度の退職予定者は三名で、それに伴う職員の新規採用は予定してない。

②現在、町の職員で夫婦は二六組。五〇歳以上五八歳までの勧奨退職制度があり、職員への制度の周知を図り勧奨退職者を募っているが、特に夫婦に限って行うという事は考えてない。これは自治法にも触れるので、あくまでも自主的な判断による方法でしか執行行えないと思う。

# 真泊港横の廃棄物処理を

## 早急に撤去する



仲原 健 議員

仲原議員 真泊港ターミナル東側に大量の廃車や廃木が積み上げられている。

観光産業を推進している高里町政として、海洋深層水を利用した

バーデハウスが六月にオープン予定で、多くの観光客が見込まれる。海洋深層水研究所、奥武島、イーフビーチ等観光客がよく利用するコースであり、高速船が発着する真泊港とも非常に近い場所である。このような場所に見苦しい物を放置することは、観光産業の大きなマイナス要因となり、早急に撤去することが望まれるが、町長の見解を伺いたい。



真泊港ターミナル東側の廃車集積場

高里町長 その場所は県が沖縄県の離島の廃車を補助で処理するため一時的に集積し対応を図ってきたが、その後廃車置き場になってしまった。観光客や一般住民からの指摘もあり、また環境上もよくない。早めに撤去して、東側の土手の土砂も取り払って視界もよくなるように跡地の整備を早急に実施したい。

# 「島の学校」を観光地と一体化した場所に

## 建設場所の変更は厳しい



眞栄平 勝政 議員

眞栄平議員 ①島の学校体験交流施設の完成後の維持管理費、管理主体と方法について。

②新町建設計画において、島の学校体験交流施設を観光関連産業の振興として位置づけられており、整備及び配置は、長期的なゾーニング計画に基づいて実施する必要がある。観光客を主体に考えれば、久米島の最大の観光資源である海に近い地域、町としては、観光地域に位置づけられているイーフ又は奥武島に配置し、一体とした施設にし維持管理の軽減を図るのが妥当だと考えるが。

③合併後2年間、旧村の計画をそのまま実施している感があり、久米島町として一体的な計画というものが無い。島の学校の現計画

は、その一例である。旧村で計画された事業の見直しは今般の財政状況、施設の目的、より大きな事業効果の発揮等を考えた場合、見直しが必要だと思うが。

高里町長 ①維持管理費は、初年度で五五四万九千円がかかる見込みである。

管理運営については、株式会社法人が望ましいということ、現在、協議中である。

ソフト部門においては、久米島観光協会の「島の学校事業部」での管理運営を関係課と検討中である。

②設置場所を仲泊の阿里地区に計画し、平成一六年度において用地の分譲協議を完了し、防衛施設局との最終調整も進んでいる。既に用地費を平成一六年度予算に計上しており、建設場所の変更は厳しいものがある。

③位置の変更と同様に、見直しについては厳しい。

## 総合運動公園事業の延期を

### 完成まで継続する

眞栄平議員 ①財政状況の悪化の原因と今後の具体的な取り組み。

②新町計画で、久米島町特定公園整備事業はスポーツ振興と位置づけられているが、今般の財政状況を考えた場合、現在ある施設を有効活用し、事業の一時延期を検討したかどうか。また、施設が完成した場合の維持管理額はいくらか。

高里町長 ①厳しい財政状況になったのは、国の三位一体の改革と、年々増える公債費にあると考えている。今後の取り組みとしては行政改革大綱を策定し、この大綱に基づき改革を進めていく考えである。

②久米島町総合運動公園整備事業は、平成一三年度に事業採択され、平成一九年度までの八カ年計画で整備を進めており、各年度ごとに事業費を設定し事業を

行っている。事業の一時延期を行うと事業期間の延長や事業費の減額が懸念される。また、事業再開がスムーズに行われる保証がないので、完成まで事業は継続して行いたいと考えている。

また、施設の維持管理については、人件費、光熱水費、電気保安委託、消耗品費、概算で約一千万円を見込んでいる。

## 議会傍聴のご案内

3月定例会では、多くの町民皆様の傍聴がありました。活力ある町づくりは、町民一人一人の“関心”から築かれていきます。次回も多くの方の傍聴申し込みをお待ちしております。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

久米島町議会事務局 (098) 985-7128